

<一般委託>

令和4年度第4期所蔵品展運搬展示業務委託(一般委託)仕様書

令和4年度第4期所蔵品展運搬展示業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	横須賀美術館本館および谷内六郎館で開催する、令和4年度第4期所蔵品展(会期=令和5年1月7日[土]~4月2日[日])にかかる美術作品の運搬展示作業を行う。
2	履行期間	契約日から令和5年3月31日(金)まで
3	施行場所	横須賀美術館(横須賀市鴨居4-1)
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作品や資料の取り扱いについては万全の注意を払い、破損・損傷の起こらないようにすること。 作品の展示に必要な器具、用具類を持参すること。 作業に発生した残材等の不要品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は、後片付けおよび清掃を行うこと。 作業時間は各日も9:30-17:30(時間厳守)とする。時間内に作業を完了するために必要な人員を見込むこと。 展示作業日は企画展開催期間中のため、作業音や作業に必要な声掛け以外の音が出ないように配慮すること。 展示の詳細や作業員配置などは担当者と打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 平成29年4月1日以降に、公立であるか私立であるかを問わず美術館との間において、会場面積600平方メートル以上の美術展の運搬展示業務の契約を元請けとして締結し完了した実績があること。 この実績を証明するため、当該契約書及び仕様書の写し(当該履行内容を記載した箇所)を参加申請書提出期間内にファクスで送信すること(FAX046-828-3839)。送信しない場合は、競争見積合せには参加できない。
7	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	美術館運営課 日野原 TEL:046-845-1212/FAX:046-845-1216

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照) ・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

別紙1 業務内容

1. 作業日程(予定)

- 令和5年1月4日(水)から1月6日(金)までの3日間
・本館地階・谷内六郎館の展示作業及び照明調整作業

2. 作業員数

- 作業は必ず複数名で行うこと。
作業時間内(各日9:30-17:30)に作業が完了するよう、必要な人員を見込むこと。
展示および撤去作業については、作業員数の目安を次のとおりとする。
・3日間延べ20名(例 1月4日:8名、5日、6日:各6名)

3. 出品作品

- 本館は別紙2 展示作品リスト(本館)を参照。谷内六郎館は別紙3 展示作品リスト(谷内六郎館)を参照(谷内六郎作品はすべて半切の額に入れた状態)。ただし、出品作品は変更することがある。

4. 運送展示保険

- 別紙2、3リストの作品について、運搬展示作業の開始から撤去・収納作業の終了までの展示公開中を含む期間、オールリスクの運搬展示保険に加入すること。ただし、保険評価額の総額を200,000,000円とし、被保険者は横須賀市長とする。

5. 作業内容

【本館地階(所蔵品展示室・所蔵品展示ギャラリー)】

- ・指定する作品を本館地階の収蔵庫及び保管庫より搬出し、担当者の指示に従って展示する。展示作業には、展示ケース、展示台の設置等を含む。
- ・作品を安全に固定した後、担当者の指示に従ってキャプション・パネル類の取り付け、照明調整作業(高所におけるスポットライトの取り付け、照度・角度の調整)を行う。なお高所作業用のローリングタワーまたはリフト(手動)、スポットライトは館の備品を使用する。

【谷内六郎館】

- ・指定する作品を本館地階の収蔵庫より搬出し、担当者の指示に従って展示する。収蔵庫と展示室の間の移動にはいったん屋外を通るため、搬送用の車両を用意すること。また、雨天の場合は作品が雨に当たらないよう梱包すること。
- ・作品の壁への取り付けには、壁に木ネジで固定する木製掛け具(ドッコ)を使用する。掛け具は既設のものを使用する場合もあるが、必要に応じて位置を調整すること。
- ・位置決定後は、額下部の1箇所に取り付けてある金具にネジを打って固定する。
- ・作品を安全に固定した後、キャプション・パネル類の取り付け、照明調整作業を行う。なお、高所作業用リフト(手動)、スポットライトは館で用意する。

6. その他

- 運搬、展示作業に必要な器具・用具類を持参すること。

以上

別紙2 展示作品リスト(本館地階)

no	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	小出櫛重	前向きの裸女	1930	油彩・画布	63.5×94.0
2	佐伯祐三	窓のある建物(パリ風景)	1925	油彩・画布	65.2×80.3
3	前田寛治	麦わら帽の子	ca.1920	油彩・板	23.8×33.2
4	児島善三郎	独立美術首途;第2の誕生	1931	油彩・画布	162.5×130.5

展示室4

5	清宮質文	静物(十字のある)	1958	木版・紙	22.3×22.7
6	清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.0×16.5
7	清宮質文	キリコ(カットグラス)	1959	木版・紙	22.2×27.4
8	清宮質文	はるかなるもの	1960	木版・紙	30.2×23.9
9	清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2×14.5
10	清宮質文	ある空間(蝶)	1962	木版・紙	22.1×25.4
11	清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.0×21.3
12	清宮質文	林の中の家?	1963	木版・紙	13.8×11.3
13	清宮質文	水のうた	1965	木版・紙	10.7×18.4
14	清宮質文	青い鳥	1965	木版・紙	3.8×8.2
15	清宮質文	アーチスト	1965	木版・紙	18.6×14.9
16	清宮質文	コップの中の人形	1965	木版・紙	21.5×22.5
17	清宮質文	雨後の貯水池	1966	木版・紙	18.0×15.1
18	清宮質文	2月の夜	1966	木版・紙	11.6×18.8
19	清宮質文	夕占	1966	木版・紙	25.4×20.4
20	清宮質文	祈	1966	木版・紙	18.7×30.3
21	清宮質文	眠り	1966	木版・紙	19.8×27.8
22	清宮質文	暗きより暗きへ	1967	木版・紙	16.0×25.8
23	清宮質文	(小箱)	1967	木版・紙	5.3×3.4
24	清宮質文	華やかな孤独	1967	木版・紙	29.5×24.0
25	清宮質文	泳ぐ人	1969	木版・紙	18.9×30.6
26	清宮質文	小さな炎	1969	木版・紙	26.0×22.3
27	清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3×23.3
28	清宮質文	べにひかげ	1970	木版・紙	26.0×16.1
29	清宮質文	一つの燈	1970	木版・紙	14.2×22.0
30	清宮質文	遠花火	1972	木版・紙	24.2×20.9
31	清宮質文	窓のランタン	1972	木版・紙	24.3×15.2
32	清宮質文	暗い夕日	1972	木版・紙	21.0×19.2
33	清宮質文	冬	1972	木版・紙	23.0×21.8
34	清宮質文	トンネルの出口	1972	木版・紙	22.4×20.0
35	清宮質文	虜囚の窓	1972	木版・紙	24.3×20.0
36	清宮質文	夕方の静物	1972	木版・紙	23.0×21.9
37	清宮質文	窓のカンテラ	1972	木版・紙	24.2×15.0
38	清宮質文	入日	1972	木版・紙	15.1×25.6
39	清宮質文	町外れ	1972	木版・紙	13.9×22.4
40	清宮質文	夕日の静物	1972	木版・紙	13.7×22.2
41	清宮質文	壇の中の魚	1972	木版・紙	20.0×22.4
42	清宮質文	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	17.8×15.0
43	清宮質文	告別	1974	木版・紙	26.0×21.4
44	清宮質文	星占い	1975	木版・紙	15.7×18.0
45	清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.1×14.4
46	清宮質文	冬の夜の静物	1976	木版・紙	18.0×15.5
47	清宮質文	バンドラの箱	1977	木版・紙	11.8×18.9
48	清宮質文	遠い太陽	1977	木版・紙	15.0×17.9
49	清宮質文	早春の静物	1977	木版・紙	26.0×22.0
50	清宮質文	北風の過ぎた夕	1978	木版・紙	19.1×13.4
51	清宮質文	夕日と猫?	1979	木版・紙	20.0×17.5
52	清宮質文	山上の湖	1981	木版・紙	19.5×26.4
53	清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5×14.0
54	清宮質文	みちしるべ	1985	木版・紙	8.9×8.8
55	清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.6×6.8
56	清宮質文	月と運河	1988	木版・紙	16.5×16.4
57	清宮質文	ベツレヘムの星	不詳	木版・紙	5.6×8.2
58	小磯良平	ビルマの婦人	ca.1943	油彩・画布	60.5×41.0
59	三岸節子	室内	1941	油彩・画布	162.1×130.3
60	井上長三郎	スエズ	1943	油彩・画布	60.5×80.0
61	松本竣介	お濠端	1940	油彩・画布	65.0×90.0
62	豊光	グラジオラス	ca.1942	油彩・板	33.1×23.7

63	麻生三郎	赤い空と人	1957	油彩・画布	112.0×162.5
64	鶴岡政男	二人で唄う	1947	油彩・画布	53.0×46.0
65	森芳雄	冬の海岸	1952	油彩・画布	80.5×100.0
66	山口薫	水と烟と残雪	1952	油彩・画布	80.2×99.8

展示室5

67	清宮質文	黙示	1961	モノタイプ・紙	24.3×29.7
68	清宮質文	静物	1964	モノタイプ・紙	22.5×31.6
69	清宮質文	夏の夜	1964	モノタイプ・紙	26.2×31.1
70	清宮質文	夜明け	1964	モノタイプ・紙	28.5×29.1
71	清宮質文	対話	1964	モノタイプ・紙	31.0×39.6
72	清宮質文	蝶B	1964	モノタイプ・紙	24.0×29.7
73	清宮質文	蝶C	1964	モノタイプ・紙	25.9×28.1
74	清宮質文	入日	1983	モノタイプ・紙	25.8×32.5
75	清宮質文	夜の中へ	不詳	モノタイプ・紙	22.8×30.8
76	清宮質文	静物(ワイングラス)	1965	水彩・紙	28.3×24.5
77	清宮質文	不安な道	1974	水彩・紙	23.2×19.8
78	清宮質文	孤独なけもの	1975	水彩・紙	17.0×20.5
79	清宮質文	夜	1977	水彩・紙	15.1×24.6
80	清宮質文	空しい日	1978	水彩・紙	19.0×23.6
81	清宮質文	透明な悲しみ	1978	水彩・紙	31.2×27.2
82	清宮質文	樹	1981	水彩・紙	30.5×22.0
83	清宮質文	花環	1981	水彩・紙	25.7×23.0
84	清宮質文	秋	1984	水彩・紙	17.1×14.8
85	清宮質文	秋の室内	不詳	水彩・紙	26.7×25.3
86	清宮質文	蝶	不詳	水彩・紙	17.6×32.7
87	清宮質文	早春の風(パステル)	不詳	水彩・紙	24.6×19.7
88	清宮質文	早春の窓	不詳	水彩・紙	21.4×18.6
89	清宮質文	蝶	1960	ガラス絵	50.3×56.3
90	清宮質文	夜	1969	ガラス絵	13.1×18.8
91	清宮質文	暗い夕日B	1969	ガラス絵	26.3×20.9
92	清宮質文	時雨れる野路	1971	ガラス絵	14.8×19.2
93	清宮質文	早春の山鳩	1972	ガラス絵	12.4×16.5
94	清宮質文	午後の坂道	1973	ガラス絵	10.6×14.5
95	清宮質文	春の深夜	1973	ガラス絵	13.2×17.6
96	清宮質文	秋風	1974	ガラス絵	11.0×15.5
97	清宮質文	冬	1974	ガラス絵	11.8×17.8
98	清宮質文	夕日	ca.1971	ガラス絵	14.5×17.6
99	清宮質文	去りゆく蝶	不詳	ガラス絵	20.2×24.5
100	清宮質文	帰郷	不詳	ガラス絵	15.1×17.6
101	清宮質文	夕暮れの裏門	不詳	ガラス絵	10.9×16.2
102	清宮質文	冬枯の道	不詳	ガラス絵	9.0×13.2
103	清宮質文	枯れ花	不詳	油彩・画布	21.3×26.2
104	清宮質文	年賀状			
105	五味秀夫	紡蟲	1956	油彩・画布	91.0×65.0
106	五味秀夫	硝子の箱	1960	油彩・画布	64.0×90.0
107	五味秀夫	ひるの波止場	1973	油彩・画布	61.0×73.0
108	五味秀夫	黒い海	1978	油彩・画布	53.0×73.0

展示室6・7 市川美幸

109	市川美幸	「tele-ship-scope」より	1999(平成11)年	タイプCプリント	45.6×45.6
110	島田鮎子	アールデコ風の部屋	2006(平成18)	油彩・画布	162.1×130.0
111	島田章三	林の中	2002(平成14)	油彩・画布	162.0×194.0
112	島田章三	怪獣やロボットもいるフリーマーケット	2015(平成27)	油彩・画布	130.3×162.1
113	島田章三	階段のコンポジション	2013(平成25)	油彩・画布	130.0×162.0
114	島田章三	らせんかいだんとうみ	2015(平成27)	油彩・画布	95.0×130.3
115	中川久	QB-86-8-A	1986	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0
116	中川久	QB-86-8-B	1986	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0
117	中川久	QB-86-8-C	1986	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0
118	中川久	QB-86-8-D	1986	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0
119	中川久	QB-86-8-E	1986	アクリル・布、木	194.5×22.5×12.0
120	中川久	QB-86-8-F	1986	アクリル・布、木	194.5×22.5×12.0
121	中川久	Q-91-3-Z よせてはかえずなみのへり	1991	アクリル・綿布	206.0×292.0
122	中川久	Q-00-4-A	2000	アクリル、和紙・綿布	203.0×310.0
123	中川久	Q-04-11-A(けはい)	2004	アクリル、和紙・綿布	201.0×320.0

展示室8 朝井閑右衛門展示室「肖像画と人物画」

124	朝井閑右衛門	自画像	ca.1930	油彩・画布	30.3×24.0
125	朝井閑右衛門	素描する人	ca.1934	油彩・画布	91.0×72.5
126	朝井閑右衛門	車内読書	ca.1932	油彩・画布	60.7×50.0
127	朝井閑右衛門	少女像	ca.1933	油彩・キャンバスボード	27.3×21.8
128	朝井閑右衛門	K嬢	ca.1950	油彩・板	27.0×21.0
129	朝井閑右衛門	放浪者	1937	油彩・画布	99.3×72.8
130	朝井閑右衛門	ギタリスト	1937	油彩・画布	99.8×72.7
131	朝井閑右衛門	[ウクレレを持つ人]	不詳	油彩・画布	116.4×91.0
132	朝井閑右衛門	於巴洋丸	1938	油彩・厚紙	12.6×17.5
133	朝井閑右衛門	ダビンチ執筆中の若き柳亮	1946	油彩・板	22.8×15.7
134	朝井閑右衛門	白サツマ大壺を見る三好達治	1960	油彩・紙	24.5×18.5
135	朝井閑右衛門	中山恒明教授	不詳	水彩、鉛筆・紙	35.3×25.2
136	朝井閑右衛門	洲之内徹像	不詳	鉛筆・紙	41.6×28.5
137	朝井閑右衛門	汪兆銘肖像	1940	油彩・画布	60.5×45.2
138	朝井閑右衛門	豊収(菅ノ家族)	1944	油彩・画布	117.0×73.0
139	朝井閑右衛門	[逝ける横田之子女史]	1945	油彩・画布	45.5×37.9
140	朝井閑右衛門	蝶家にて	ca.1949	油彩・厚紙	12.7×17.6
141	朝井閑右衛門	よっぱらい	ca.1947	油彩・画布	33.1×24.2
142	滝波重人	楕円の中の二つの形	1991	油彩、テンペラ、廃材など・画布	200.0×390.0
143	滝波重人	Untitled 93-P-9	1993	油彩、テンペラ・画布	205.0×480.0
144	滝波重人	汽水域06-P-9	2006	油彩、テンペラ・画布	227.0×364.0
145	宮崎進	泥土	2004	ミクストメディア、麻布・合板	194.0×320.3

別紙3 展示作品リスト(谷内六郎館)

No	タイトル	発行年月日
1	かなかな蟬の駅長さん	1962(S37)年 9月10日号
2	切符	1965(S40)年11月13日号
3	特急ツバメの通る駅	1972(S47)年 6月17日号
4	花びらの切符	1979(S54)年 4月 5日号
5	急行の止まらない駅	1959(S34)年 5月11日号
6	駅	1957(S32)年 7月22日号
7	山間小駅	1961(S36)年 5月29日号
8	廃線の駅	1970(S45)年 7月11日号
9	廃線の駅	1974(S49)年10月31日号
10	北から来た汽車	1956(S31)年12月 3日号
11	貨車もゆびきり別れ道	1961(S36)年11月27日号
12	町を見物してる	1967(S42)年 4月 8日号
13	駅弁だよ	1975(S50)年 4月 3日号
14	長い貨車	1973(S48)年 4月 5日号
15	ミシンの音	1963(S38)年 7月 8日号
16	車窓のフィルム	1974(S49)年 2月14日号
17	夜明の音階	1964(S39)年 6月22日号
18	月夜の標識	1967(S42)年10月21日号
19	走る雲のかけ 浜岡大砂丘にて	1976(S51)年 7月 1日号
20	シュツシュツ 夜汽車が星空のセンをぬく	1977(S52)年 9月29日号
21	鉄道員	1969(S44)年 9月 6日号
22	上總の町は貨車の列 火の見の高さに海がある	1956(S31)年 2月19日号
23	行ってしまった森林鉄道 木曾にて	1975(S50)年 8月14日号
24	霧の汽車	1979(S54)年 6月14日号
25	線路をさがしていた汽笛	1980(S55)年 2月28日号
26	山から来た霧の汽車 ヒュッテにて	1980(S55)年12月 4日号
27	車庫の中で今頃は	1972(S47)年 9月16日号
28	雨の特急しずくも走る	1977(S52)年10月 6日号
29	外も走る	1980(S55)年 3月13日号
30	海の近い駅	1956(S31)年 7月17日号
31	線路の音の記憶	1976(S51)年 4月 8日号
32	郊外電車	1956(S31)年 9月10日号
33	汽車弁のまゝごと	1964(S39)年 2月17日号
34	蝶も乗る電車	1966(S41)年
35	コオロギ鉄道	1969(S44)年11月 1日号
36	霧の日電車は虹も運ぶ	1974(S49)年 5月 9日号
37	ラッシュアワー	1978(S53)年 7月20日号
38	旅行	1958(S33)年 2月10日号
39	景色が走る	1967(S42)年 4月29日号
40	山間電車 緑の光も満員	1976(S51)年 5月13日号
41	蝶の住む電車	1963(S38)年 4月29日号
42	電車もライター	1961(S36)年 4月 3日号
43	トンネルの中の記憶	1959(S34)年 6月15日号
44	一コマのカラー	1964(S39)年 5月18日号
45	若葉のトンネル	1977(S52)年 5月26日号
46	春をはこぶ電車	1969(S44)年 3月 1日号
47	汽車道	1959(S34)年 9月 7日号
48	始発には夜の子が乗っている	1975(S50)年 3月27日号
49	乗ってる気分	1961(S36)年 7月 3日号
50	雪國小駅	1965(S40)年 3月 1日号